



チーム玉幡



第15号
R6 2月 7日
文責 花形 一満

特色ある学校づくりをめざして ～地域の特色・地域の教育力を生かして～

学校では、玉幡小学校の学校目標、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成」の実現のために6つの取組を実践しています。その取組の一つ、「児童や地域の実態をふまえた効果的な教育課程の編成・実施・改善」のために、本校は、地域の特色を生かし、地域の教育力を活用した教育活動にも力を入れています。今回は、その取組の一つをご紹介します。

ご存じのように、本校の学区である八幡地区は、甲斐市の特産品「やはたいも」で有名です。市のゆるキャラも「やはたいぬ」として愛されています。「やはたいも」は、釜無川の度重なる氾濫による堆積した肥沃な砂質土壌により、白くてきめ細かく、粘りが強く、独特の風味があり、地元ではほうとうにも欠かせない甲斐市が誇る食材です。

学校では、第3学年の「総合的な学習の時間」に「町の特産品を育てよう」の単元として教育課程に組み入れて地域の特色を生かした学習をしています。今年度は、中巨摩学校食育推進研究会推進校の指定を受け、食育としても取り組んできました。

1学期には、まず、市の特産品としての「やはたいも」に関心をもってもらうために、やはたいも作りについて調べ学習をしました。そして、実際に学校園の畑でやはたいも作りに挑戦しました。地域のやはたいも名人を講師として数回招き、種芋植え・水やり・草取り・収穫の過程を年間を通して体験しました。

2学期には、やはたいも農家を見学し、農家の方にやはたいも作りの大変さや悩みなどインタビューすることができました。見学を通して、特産品としての「やはたいも」をもっといろいろな人に知ってもらいたい、やはたいもの魅力を伝えたいという子どもたちの思いからスーパーなどに貼る「やはたいも」のポスター作りにも取り組みました。秋には、学校園でもやはたいもの収穫を行いました。やはたいも名人の指導のおかげで粒そろいのやはたいもが収穫でき、子どもたちは大喜びでした。そして、この学びや体験活動を通して、児童一人一人が充実感を味わえたこと、また、地域に目を向け、地域を大切にできる心をもつことができたことが大きな収穫でした。

今後も地域の自然・文化・伝統・人材を活用し、地域の特色を生かすとともに、地域に根ざした「本校だからできること」を大切にして教育活動を進め、これからの地域を担う子どもたちの健やかな成長を学校・家庭・地域のみんなで支えていけたらと思っています。



1年生 昔からの遊びの会！ 遊びの名人を招いて！

1月23日（火）に1年生の「昔からの遊びの会」が行われました。竜王中部公園セミナーハウスのご協力により、23名の地域の皆様を「遊び名人」として来ていただき行うことができました。あやとり、けん玉、竹とんぼ、紙でっぼう、お手玉など昔懐かしい遊びを教えていただきながら交流をしました。新しい発見や驚き、喜びが全ての子どもたちの様子からうかがわれ、温かい雰囲気にも包まれた会でした。始め・終わりの会では代表の子どもたちが、司会進行やあいさつ・お礼をととも立派に行うことができました。人とのふれあいは豊かな心づくりに大きな力を発揮します。今後も竜王中部公園セミナーハウスに地域連携のコーディネーターとなっていていただき、地域の方との交流の機会をもっていきたいと思っております。



6年生 戦争や差別について考える！ 平和教育

6年生が、総合的な学習の時間の「平和について考えよう」の学習で、平和について・戦争や差別問題について、グループごとに調べ学習をして、調べたことや自分たちの考えを模造紙にまとめました。1月25日（木）には、その成果を「甲斐市遺族会」の方々へ発表し、意見や感想をお伺いしました。遺族会の皆様には、ご自身が体験したことを交えながら、子どもたちの発表にあわせて感想を言っていただきとてもありがたく思いました。6年生の子どもたちは、平和の大切さを知ると共に、平和な社会を創るためにこれから自分たちができることは何か考えるよい機会となりました。



なわとびで体づくり！～短なわとび・長なわとびの取組～

1月15日（月）～18日（木）を長なわ週間、1月31日（水）～2月6日（火）を短なわ週間とし全校でなわとび運動に取り組みました。1月31日（水）の中休みには、なわとび集会を行い、体育委員会のみなさんが、短なわのいろいろな跳び方を全校児童に紹介して、全校児童に技の習得と跳べる回数アップを呼びかけました。休み時間には、個人や学級でなわとびにチャレンジする姿が見られました。健康な体・やればできるという達成感やみんなで行うことの喜びなど、大切なことを身に付けられるとても貴重な機会となっています。

